

北で生きるよすが

北方民族の世界観



「サハのシャマン」 ネウストローエヴァ・ナターリヤ

Spiritual World of Northern Peoples

令和2年(2020年)

7月18日[土]～8月23日[日]

開館時間 9:00-17:00

会場 北海道立北方民族博物館特別展示室

観覧料

特別展	一般 450 [300] 円	65歳以上 300円
	高大生 200 [160] 円	小中学生無料
常設展・特別展セット	一般 800 [740] 円	65歳以上 300円
	高大生 320円	小中学生無料

* []内は10名以上の団体料金

* 小中学生、学校行事の高校生は無料です



シャマンのまじない具/エベンキ
ロシア/サハ共和国/ヤクーツク 2007年収集

主催 北海道立北方民族博物館
(指定管理者：一般財団法人北方文化振興協会)

北海道立北方民族博物館
Hokkaido Museum of Northern Peoples

〒093-0042 北海道網走市字潮見 309-1
(天都山・道立オホーツク公園内)
電話 0152-45-3888 FAX 0152-45-3889
e-mail:tonakai@hoppohm.org http://hoppohm.org

北で生きるよすが 北方民族の世界観

Spiritual World of Northern Peoples



ナーナイのシャマン
ロシア/ハバロフスク地方/
ジャリ 1970年
A.V.スモリヤーク撮影

北方諸民族はその知恵や技術を駆使して北方の環境の中で暮らしてきました。

食料を手に入れるための狩猟具、寒さをしのぐための暖かな衣服、遠くへ移動するための船や橇^{そり}。しかしそうした道具類だけが、生活を支えていたわけではありません。助け合う社会や、自然に関する知識、大切な事柄を伝承する手段、長い冬を乗り切るための娯楽も重要でした。さらに精神的なよりどころとなるものが必要でした。信仰や祈り、行動の規範、動物との関係などにみられる独特の世界観が存在します。

今回の特別展では、北方民族の精神世界のなかで特に重要な位置を占める「シャマニズム」と「アニミズム」を軸に、関連する当館の収蔵資料により北方民族の世界観の一端を紹介します。

現在では、のちに伝えられた各種宗教の影響が大きくなっていますが、それでも古くからの世界観が全く消えてしまったわけではありません。

この未曾有の事態下での開催となった本展で、北で生きるためのよすがにふれ、北方民族の物事への向きあい方を知る機会にいただければ幸いです。



まじない具（聖なる火きり板）
/コリヤーク
ロシア/マガダン州/
クレスティキ 1971年
N.N.ゲルゴリコヴァア作
H16.30



木偶/ウイルタ D2.1.3

シャマニズム

シャマンとよばれる、特別な能力をもつ人を中心とする宗教的世界観。

アニミズム

動植物はもちろん、無生物にも靈魂が宿っていると信じる世界観。

※観覧時には、新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力ください。

関連イベント

講座 特別展解説講座

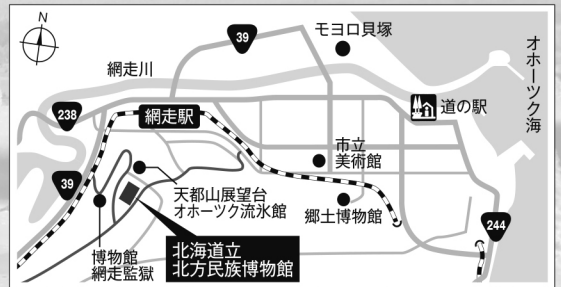
8月8日（土）13:30-15:00

講師 笹倉いる美（当館学芸主幹）

上映会 北方民族博物館シアター 夏

8月15日（土）13:30-15:00

- ・都合により内容や日時が変更になることがあります。
- ・もよおしに参加を希望される方は電話でお申し込みください。



北海道立北方民族博物館
Hokkaido Museum of Northern Peoples

〒093-0042 北海道網走市字潮見 309-1

（天都山・道立オホーツク公園内）

電話 0152-45-3888 FAX 0152-45-3889

e-mail:tonakai@hoppohm.org <http://hoppohm.org>

描いたのは偉大なシャマンです。シャマンを囲むのがシャマンのスピリチュアルな世界で活躍する「助霊」たちの姿です。後ろに見えるのは、シャマンが天上界に上る時に使う道のようなものだとされています。シャマンへの尊敬と愛を込めて描きました。

ネウストローエヴァ・ナターリヤ